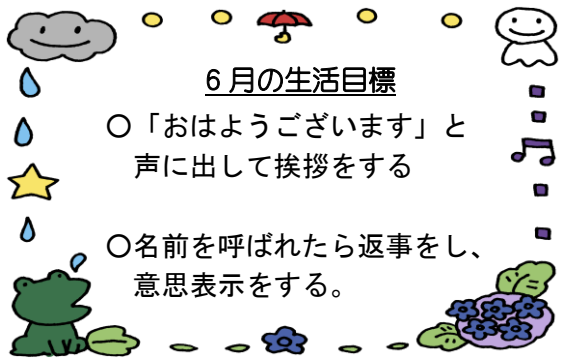


永原学園地域子育て支援センター

さんこう・ぽぽらだより

令和3年6月発行・第170号
認定こども園西九州大学附属 三光保育園
TEL:0952-31-6877



6月の生活目標

○「おはようございます」と
声に出して挨拶をする

○名前を呼ばれたら返事をし、
意思表示をする。

「シニアサロンぽぽら」について

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回
地域のシニアの方におこし頂き楽しいひと時を過ごし
ています。

日時：6月11日（金）：ピアノリサイタル

7月2日（金）：七夕製作

場合によっては中止になる可能性があります。

6月・7月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・6月 4日（金）10:00～11:00 …赤ちゃんの日（1歳未満）
- ・6月 7日（月）10:00～11:00 …2.3歳児の日
- ・6月 8日（火）10:00～11:00 …なかよし・プレ
- ・6月 9日（水）10:00～11:00…1歳の日
- ・6月10日（木）10:00～11:00…1歳の日
- ・6月16日（水）10:00～11:00…リフレッシュ講座
- ・6月21日（月）10:00～11:00…フリーディ
- ・6月22日（火）10:00～11:00…フリーディ
- ・6月25日（金）10:00～11:00…フリーディ
- ・7月 5日（月）10:00～11:00 …2.3歳の日
- ・7月 6日（火）10:00～11:00 …なかよし・プレ
- ・7月 8日（木）10:00～11:00 …1歳児の日
- ・7月13日（火）10:00～11:00…1歳の日
- ・7月14日（水）10:00～11:00…赤ちゃんの日（1歳未満）
- ・7月15日（木）10:00～11:00…フリーディ
- ・7月16日（金）10:00～11:00…フリーディ
- ・7月19日（月）10:00～11:00…フリーディ
- ・7月20日（火）10:00～11:00…育児講座（トイレトレーニング）

開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場

※電話でお申し込みください。6月分は6/1から電話予約開始で
す。7月分は7/1から受け付けます。先着10人です。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

1歳・2.3歳の日は、参加できます。

「コロナ禍でも、家では歌を楽しみましょう♡」

先日、夕食時に偶然見たテレビで2歳児の女の子が
とても楽しそうに童謡を披露していました。ネットでは、
「癒される～」といって大人気だそうです。

昨年からコロナ感染症防止対策として、保育者は常に
マスクを着用しています。特に乳児から2歳児を担当す
る先生方は、いつも笑顔を絶やさないようにして、子ど
もたち一人一人の目をみて、時には口を大きく開けて、
お話をしたり歌を歌ったりして、表情の変化を大切にし
ています。そういえば、歌を歌う時はどんな風にしてい
るのだろうか心配になり確認したところ、マスクは着
用しているものの、例年通り季節の歌や童謡、わらべ歌
は楽しく歌っているそうで、ちょっと安心しました。

カラオケの好きな大人の集団でクラスターが多く発生
し、飛沫感染が気になる所ですが、子どもの日常に歌は
欠かせません。何人かの保育者に歌の効果について尋ね
てみたところ、「歌は心を合わせたり、気持ちを共有する
ことができる」「歌詞からパワーがもらえる」「友達と一
緒に歌うことで気持ちの共有や喜びがある」「遊んでいる
時に自然に口ずさんでいる」等々、の効果があっている
ことがわかりました。私達、大人ももちろんですが、歌
は生活の一部になっているようです。

コロナ禍にあっても、保育園等では歌や演奏、リズム
遊びをととても楽しんでいます。ご家庭でも、窓を開け
たりマスクを付けたりして、一緒に歌を歌って楽しんで下
さい。（三光保育園園長）

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受
け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大
部教員による食育相談を行っています。

※事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。



子育て支援事業について

★新型コロナウイルス感染症の状況により、計画の変
更や中止の場合があります。出かける前に必ずホー
ムページで確認してください。また、具合が悪い時
や37.5度以上の熱がある場合の参加はご遠慮くださ
い。感染予防に努め、保護者の方はマスクの着用を
お願いします。

子育て便り

母親の育児ストレスと父親の役割

西九州大学看護学部看護学科 講師 齋藤嘉宏

育児ストレスという言葉を目にする機会が増えましたが、皆さんはどういった意味づけがされているか知っていますか…？

育児ストレスの報告をまとめた研究に、育児ストレスを「育児不安という困難感によって引き起こされるストレス反応を示すもの」とし、育児不安は「育児に対する不安や苛立ちという感情を伴うもの」と定義しているものがあります。

私は大学で精神看護学を担当していますが、「不安」は将来のことを想像した際に生じる感情であること、厳密には異なりますが、「苛立ち」が「怒り」に置き換えられるとすると、「怒り」は現在発生したことに対して生じる感情であると学生に説明しています。育児を通して生じる感情には、現在や将来に対するもの、もしかすると、過去の事案に思いが集中し、気分が落ち込むといったものもあるかもしれません。大切なことは、育児には様々な感情が生じる可能性があること、そして、その事実を母親だけでなく父親と共有することで、父親は母親の心理面のケアも含め、育児に対する役割意識を向上させることができるかもしれません。

今日「イクメン」という言葉が脚光を浴びていますが、育児には父親の協力が必要不可欠です。父親の育児に関する資料では、父親が育児に関与することへの肯定的な意見として、母親の心理的な安定に繋がることなどが報告されています。現在では、子育て支援サービスとして相談・交流できる場の確立や、保健師などによる訪問型支援サービスなどの社会資源も整いつつありますが、共働きや核家族化などの背景もあり、そのような資源を利用することが難しい方もおられます。夫の育児休暇取得も同様、現実的には難しい問題が多く存在しています。だからこそ、限られた時間の中で果たす父親の役割は大きなものとなるのではないのでしょうか。母親の心理面へのケアももちろんですが、料理や掃除などの家事を分担するなどの現実的な対応も役割として大切になってきます。

まずは、母親と父親が育児に対して話し合う場をもち、育児から生じる母親の思いを共有し、具体的にできる父親役割について検討することから始めてみませんか。育児だけでなく家事についてもどのようなものがあるのかを書き出してみ、母親と父親が、2人で協力し合いながら育児にむかえる体制を整えることができると良いですね。